

氏名 難波 俊二	
所属と職位	医療保健学部臨床検査学科 教授
主な資格と学位	<資格> 臨床検査技師(No.51035) <学位> 修士(理学)
プロフィール	1973年 株式会社 保健科学研究所 1976年 東邦大学医療センター大森病院臨床検査部 2005年 東邦大学大学院理学研究科生物学専攻博士前期課程修了 2014年 つくば国際大学医療保険学部臨床検査学科准教授 2023年 つくば国際大学医療保険学部臨床検査学科教授
研究分野 研究テーマ	病態検査学 腎疾患のバイオマーカー創出
主な所属学会	生物試料分析科学会、日本静脈経腸栄養学会、腎・泌尿器検査研究会(幹事)、日本臨床検査医学会
主な担当科目	臨床化学Ⅰ、臨床化学実習、臨床検査医学総論、臨床検査医学演習
主な著書・論文	[原著論文] Shunji Namba, Yuko Okuda, Masanari Sano, <i>et al.</i> Indoxyl sulfate is an independent risk factor for coronary heart disease in patients with chronic kidney disease. ; Int J Anal-Sci (2)2:52-57, 2014 ・難波俊二、奥田優子、森元明子ほか:インドキシル硫酸濃度は慢性腎臓病の進行予知因子となり得る;日本臨床検査医学会会誌 臨床病理 58(5):448-453,2010 [著書] ・難波俊二(分担)、心腎連関の臨床検査、臨床検査(62)1:84-89、医学書院、2018 ・難波俊二(分担)、泌尿器・生殖器疾患「医師事務作業補助者実務能力認定試験 公式テキストⅡ」90-99、全国医療福祉教育会、2016 ・難波俊二(分担)、免疫学的測定法「新版 臨床化学 第3版」50-56、講談社、2014
主な社会活動	慢性腎臓病の尿と血液検査を知る、土浦市生涯学習館、2017 臨床検査技師のスキルアップ、東武医学技術専門学校講演会、2017 県民大学講座 健康診断「検査結果の見方・読み方」、茨城県県南生涯学習センター、2017
e-mail	s-namba@tius.ac.jp